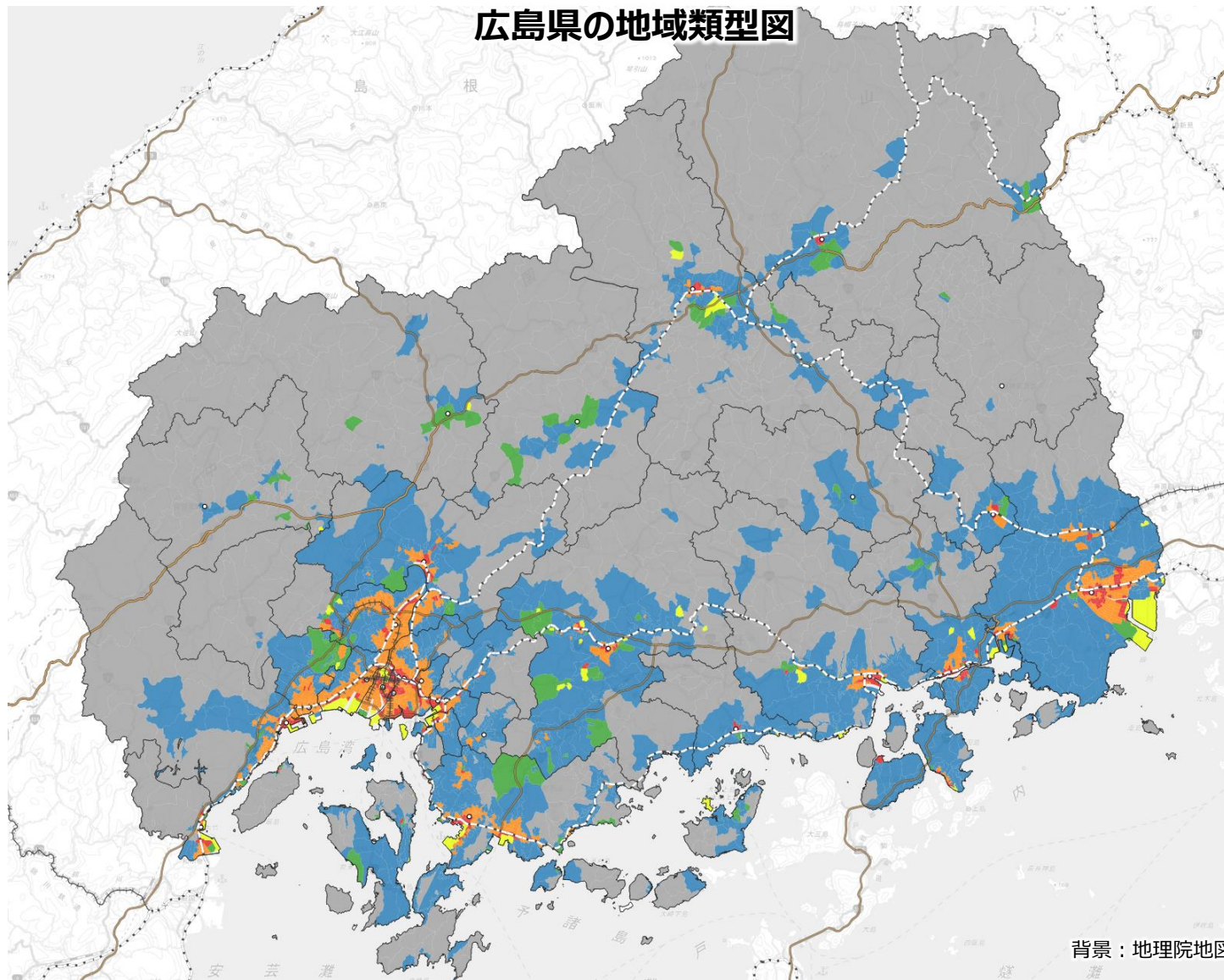


人の移動に着目し、県民の生活に必要な移動をどのように満たしていくのかという観点から、地域の移動特性に応じた、6つの地域類型を設定。

広島県の地域類型図



【凡例】地域類型

- 都市拠点型
- 都市住居型
- 生産拠点型
- 地域拠点型
- 地域住居型
- 移動需要分散型

(参考) 地域類型の考え方

人流データから得られる「移動の傾向」と「移動量」を軸として、県内地域を移動特性に合わせ、6つのパターンに類型化。

移動傾向と移動量による細分類

傾向・移動量	昼間 激増	昼間 増加	昼間 減少	NaN (データなし)
移動量 (大)	移動量大 昼間激増	移動量大 昼間増加	移動量大 昼間減少	該当なし
移動量 (中)	移動量中 昼間激増	移動量中 昼間増加	移動量小 昼間減少	該当なし
移動量 (小)	移動量小 昼間激増	移動量小 昼間増加	移動量小 昼間減少	NaN

移動傾向や移動量から集約

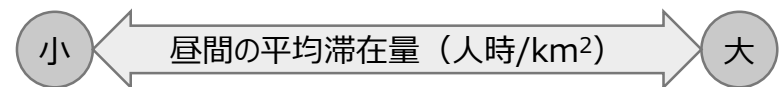
広島県全体の移動類型

傾向・移動量	昼間 激増	昼間 増加	昼間 減少	NaN
移動量 (大)	生産 拠点型	都市 拠点型	都市 住居型	該当なし
移動量 (中)		地域 拠点型	地域 住居型	
移動量 (小)	移動需要分散型			

移動の傾向（日中の人の動きを3つに分類）

昼間 激増	朝夕の人が少なく、日中に急激に滞在量が増加する地域
昼間 増加	朝夕も一定の人がおり、日中に滞在量が増加する地域
昼間 減少	朝夕も一定の人がおり、日中に滞在量が減少する地域

移動量（地域の移動量を3つに分類）



地域類型のイメージ

類型を想起させるワード

移動需要分散型

- ・山, 川, 海
- ・集落

地域住居型



- ・低密に立地する住居

地域拠点型



- ・町役場
- ・支所周辺
- ・病院
- ・道の駅

生産拠点型



- ・大規模工場
- ・工業地域

都市住居型



- ・マンション群
- ・住宅団地

- ・鉄道駅
- ・市役所
- ・マンション
- ・ホテル
- ・総合病院

都市拠点型



- ・高層ビル
- ・商業ビル
- ・タワーマンション
- ・新幹線駅

県民の暮らしと、地域・経済の共創を支え、ひろしまの価値を高める 社会基盤としての地域公共交通の実現

ことば	ことばの意味・込めた思い
県民の暮らし	通勤，通学，買い物，通院等， 守るべき県民の日常生活
地域・経済	交通×まちづくり，交通×ビジネス，交通×医療など， 分野の垣根をこえた地域公共交通のデザイン
共創	事業者・利用者・行政等，交通に関わる全ての関係者による， 地域公共交通の持続可能な再構築
ひろしまの価値を高める	豊かな暮らし や イノベーション に公共交通が貢献することで，広島県の価値を高める
社会基盤	公共交通を ベーシックインフラ としてしっかり支えていく

➡ 県が主体となって、事業者・利用者・市町等と連携しながら、公共交通を利便性，持続可能性，生産性，快適性が向上する形にリデザインし、「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン」に掲げる**適散・適集社会**を目指す

問題の構造化（ロジックツリー）

テーマ：都市部

厳しさを増す地域公共交通の現状

人口減少

自然減

生産年齢人口が減少

高齢者単独世帯は増加傾向

社会減

若者世代の転出超過

新型
コロナ

「新しい生活様式」の浸透

テレワーク等で移動が減少

オンラインショッピングの増加

緊急事態宣言等の外出制限

公共交通の一時的な利用減

人手不足

交通事業者の人材不足

運転士の不足

運行管理者の不足

企画部門の不足

整備士の不足

行政(交通分野)の人材不足
他業務との兼務が増える

通勤・通学での利用が低迷

都市部の活力が低下

個人主義の加速

観光、レジャーといった
非日常活動が少なくなる

消費市場の縮小

ビジネスでの出張が減少

外出する機会が減少

物流の増加

減便の実施

路線の廃止

効果的な施策実施が困難

効率的な点検・修理が困難

先端技術へのノウハウが不足

定期収入の減少

移動電費を束ねる
減便の実施

路線の廃止

都市としての拠点性の低下

観光・ビジネス
客の取り込み
観光路線の縮小

県外流入の減少

公共交通を使う機会が減少

道路状況の改善

道路渋滞の発生

利用者の利便性の低下

交通事業者の売上減少

交通事業者のコスト増加

技術進展が起こりづらい

利用者の利便性の低下

交通事業者の売上減少

街中への流入が減少

他都市とのネットワークの断絶

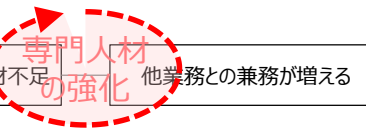
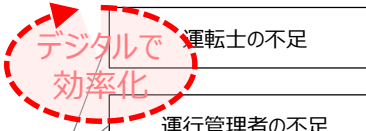
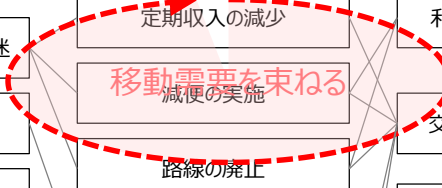
将来世代の利用減

交通事業者の経営悪化

デジタルで
効率化

データを
活用する

専門人材
の強化



問題の構造化 (ロジックツリー)

テーマ：中山間地域

厳しさを増す地域公共交通の現状



問題の構造化（ロジックツリー）

テーマ：外部環境

厳しさを増す地域公共交通の現状

脱炭素

世界的な脱炭素化の加速

県民の環境意識が向上

社会的要請への対応

環境規制の強化

規制を満たす車両等が必要

公共交通の脱炭素化

設備投資の負担増加

交通事業者のコスト増加

大規模災害

大規模災害の頻発

道路の遮断

輸送手段が失われる

緊急車両が通れない

電気・ガス等ライフライン喪失

暑さ・寒さがしのげない

非常用としての公共交通利用

重機や機材が使えない

生死に関わる危機

通信手段の断絶

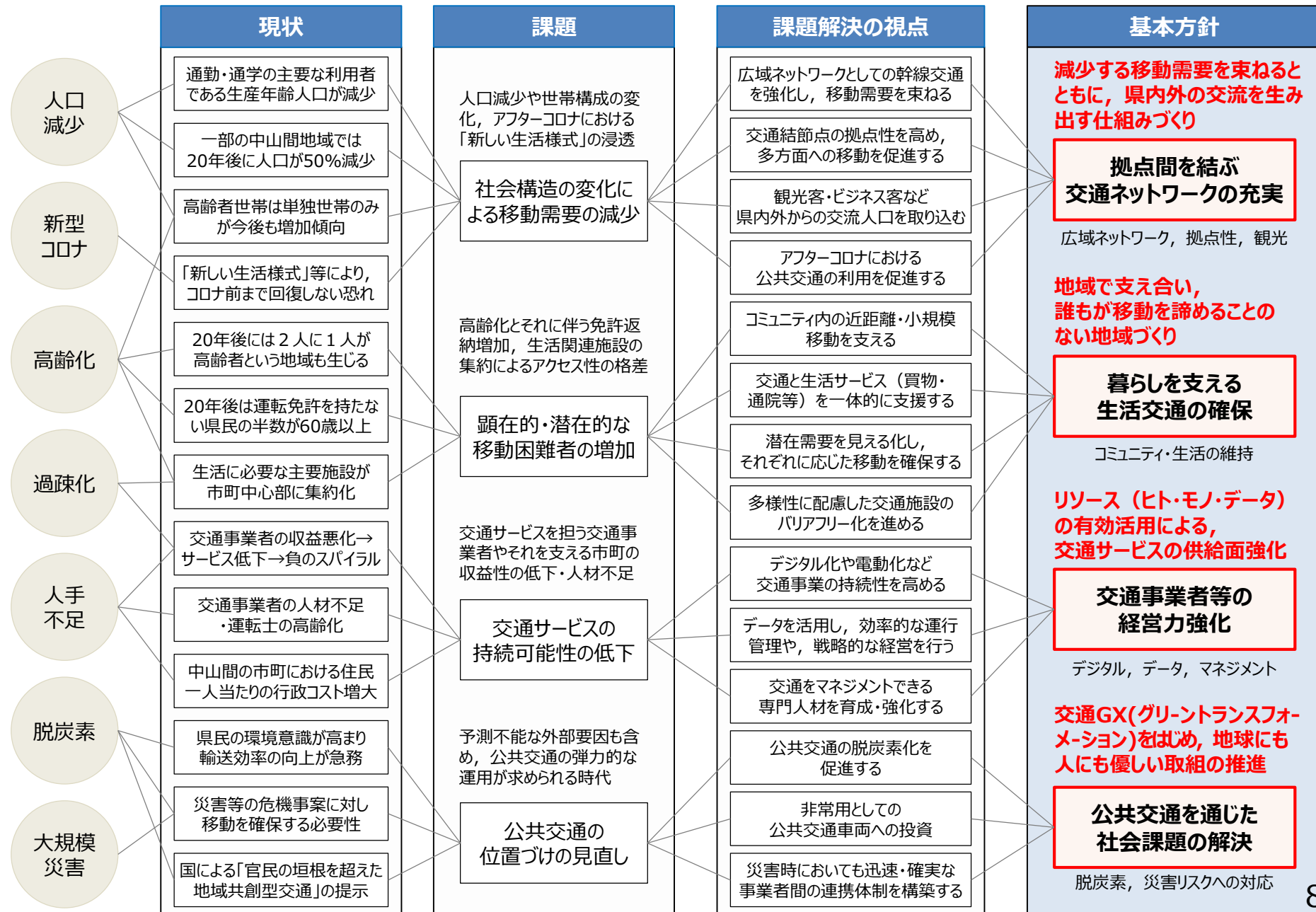
情報が錯綜する

事業者間の緊急連携体制構築

事業者間の連絡が取れない

復旧が遅れる

基本方針



施策の方向性

基本方針に対応した施策の方向性と、関連性が強い地域類型を次のとおり設定し、目指す姿の実現に向けて、県が主体となって産官学の連携をマネジメントしていく。

関連性高い：● 関連性あり：○

基本方針	施策の方向性		都	都	生	地	地	分
			拠	住	産	拠	住	散
<p>減少する移動需要を束ねるとともに、県内外の交流を生み出す仕組みづくり</p> <p>拠点間を結ぶ交通ネットワークの充実</p>	広域ネットワークの強化	広域ネットワークとしての幹線交通を強化します	●	●	●	●	●	
	集約型拠点形成によるまちづくり	結節点の拠点性を高め、多方面への移動を促進します	●	●	●	●		
	新たな需要の獲得	観光・ビジネスなど県内外からの交流人口を取り込みます	●	●	●	●		○
	生活様式に応じた利用促進	アフターコロナにおけるモビリティ・マネジメントを促進します	●	●	●	●	●	●
<p>地域で支え合い、誰もが移動を諦めることのない地域づくり</p> <p>暮らしを支える生活交通の確保</p>	コミュニティ内の移動の確保	地域コミュニティ内の近距離・小規模移動を確保します		○		○	●	●
	交通と生活サービスの一体化	交通と生活サービスが一体となった取組を推進します		○		●	●	●
	潜在需要の掘り起こし	潜在需要を満たす新たな交通サービスを確保します		○		●	●	●
	バリアフリー対策	全ての人が移動しやすいバリアフリーを整備します	●	●	●	●	●	●
<p>リソース（ヒト・モノ・データ）の有効活用による、交通サービスの供給面強化</p> <p>交通事業者等の経営力強化</p>	将来を見据えた設備投資	交通事業者の持続性を高める取組を促進します	●	●	●	●	●	●
	交通データの利活用	交通データを一元管理し、関係者の活用を促進します	●	●	●	●	●	●
	交通人材の育成・強化	地域交通を支える専門人材を育成・強化します	●	●	●	●	●	●
	交通GXの推進	脱炭素をはじめとした交通に係るGXを推進します	●	●	●	●	●	●
<p>交通GX(グリーントランスフォーメーション)をはじめ、地球にも人にも優しい取組の推進</p> <p>公共交通を通じた社会課題の解決</p>	交通レジリエンスの向上	非常時に活用できる公共交通への投資を促進します	●	●	●	●	●	●
	災害に強い連携体制	災害時においても迅速・確実な連携体制を構築します	●	●	●	●	●	●

公共交通ビジョンスケジュール（令和5年度）

	R5.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
議会		県議会議員選挙	5月臨時会 骨子常任説明								素案集中審議		
庁内		第4回広島県地域公共交通協議会（骨子案） 経営戦略会議（骨子案）	骨子策定			第5回広島県地域公共交通協議会（施策）				第6回広島県地域公共交通協議会（素案） 経営戦略会議（素案）			第7回広島県地域公共交通協議会（最終） 広島県地域公共交通ビジョン策定
WG			施策検討WG エリア分科会			施策検討WG エリア分科会							
庁外			各市町の公共交通会議			各市町の公共交通会議						パブコメ	